

## 日本環境感染学会誌投稿規定案(改定第5版：最終案)

日本環境感染学会誌は、環境感染領域に貢献する未発表の投稿論文および学術集会記録、学会告示、学会報告および業務経過等を掲載する。

### 1. 論文の種類

- 1) 会員の投稿による論文
  - (1) 原著：独創性に富む論文で、明確かつ十分な新知見を認める論文。
  - (2) 短報：独創性に富む論文で、明確な新知見を認めるものの、原著としては不十分な論文。
  - (3) 報告：疫学調査、アンケート調査、抗菌薬感受性等に関する報告で、編集委員会が掲載に値すると評価した論文。
  - (4) 症例報告：稀な症例や治療法に関する内容で、編集委員会が掲載に値すると評価した論文。
- 2) 編集委員会が依頼する原稿
  - (1) 総説
  - (2) 特集
  - (3) その他(解説、学会賞講演抄録など)

### 2. 投稿者の資格

投稿者は、共著者を含めて本学会員に限る。ただし編集委員会が依頼する原稿の著者は本学会員に限定しない。

### 3. 原稿投稿時に提出が必要な書類

- 1) 投稿時には、本学会の定める様式を学会ホームページからダウンロードし、必ず下記内容の【誓約書ならびに同意書】に署名の上、項目4に記載の宛先に郵送すること。
  - (1) 原稿の内容が未発表であること(英文誌を含めて他誌への重複投稿をしていないこと)。
  - (2) 掲載された原稿の著作権が日本環境感染学会に帰属すること(無断で他誌へ図表を転用しないこと)。
  - (3) 著者及び共著者の全員が日本環境感染学会の会員であること。
  - (4) 著者ならびに共著者の同意書(署名)
- 2) 図表などの他誌からの引用に関しては、必ず出版社または著者本人からの引用承諾書を提出すること(自著、他著に関わらず提出する必要がある)。

### 4. 論文の投稿方法

- 1) e-mail に原稿のデータを添付して送信する。論文

作成の詳細については、項目11以降に規定する。

- 2) 送信先：E-mail: scimed@m01.itscom.net  
株式会社サイメッド・パブリケーションズ  
日本環境感染学会 編集事務局代行係  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-3-1  
神田高野ビル 5F  
TEL: 03-5297-2756 FAX: 03-5297-2754

### 5. 採否

原則としてレフリー2名による査読を経て編集委員会にて決定する。投稿されたデータは返却しないので、必ず著者の責任で手元に控えを保管しておくこと。レフリーからの意見があった場合は、2ヵ月以内に修正論文を編集事務局へ送ること。期限内に修正論文が届かない場合は不採用とする。

### 6. 論文の受付日および受理日

投稿論文の受付日は、編集委員会が投稿に関わる諸書式を受領した後に、著者全員が本学会の会員であることが確認された日付とする。投稿論文の受理日は、編集委員長が指名した編集委員あるいは本学会評議員の資格を有する専門家の校閲を受けた後、最終的に学会誌への掲載を許可された日付とする。

### 7. 著作権の帰属

- 1) 学会誌掲載内容(インターネット上で公開する電子媒体を含む)の著作権は、全て学会に帰属する。学会誌内で掲載されている図表など原著性の高い内容を他の雑誌や書籍刊行物にて利用する際には、学会誌編集委員長に対して必ず書状にて許諾申請を行うものとする。許諾は郵送あるいはFAXにて編集事務局宛に申請する(電子メールでの依頼は受け付けない)。
- 2) 学会誌誌面内容使用に関する許諾申請書には、(1) 引用する学会誌の論文の号・巻・頁・年度・タイトル・筆頭著者名・使用したい図表等の掲載頁とその図表番号、(2) 利用目的、(3) 依頼者住所・氏名・電話番号・FAX番号・電子メールアドレス・自著署名を付記して申し込むこと。
- 3) 使用許可のおりた図表等の利用に関しては脚注に(あるいは参考文献として)原著を引用文献として明示すること(謝辞等を文面で述べるのが望ましい)。

## 8. 学会誌掲載内容のインターネット上での公開

投稿者は、投稿内容が受理され学会誌に掲載された場合、学会誌掲載内容がインターネット上で公開されることについて了解しているものとする。

## 9. 倫理規定について

- 1) 人体を対象とした研究及び調査研究などでは、所属施設の倫理委員会またはこれに準じるものの承認が必要である。
- 2) 動物を対象とした研究では、各施設の動物委員会の承認が必要である。
- 3) ヒトゲノム・遺伝子解析研究においては、施設の遺伝子組換え実験実安全委員会の承認が必要である。
- 4) BSL2 以上の微生物を対象とした研究においては、各施設の病原体等安全管理委員会の承認が必要である。

## 10. 論文の形式と長さ

投稿論文の言語は、日本語あるいは英語とする。英文投稿の場合の規定は和文投稿に準ずる(但し、和文のタイトル・著者名・所属・要旨・キーワードを併記すること)。外国語は欧文表記とする。細菌名は学名を用い、「日本環境感染学会用語集」等に準拠する。下記の論文ごとに定められた項目でまとめること。

「日本環境感染学会関連用語英和対照表集」

論文データ作成に関する詳細は項目 11 以降に詳述する。

- 1) 原著：下記の項目で作成すること。論文の長さおよび図・表の枚数制限なし。
  - (1) 表紙, (2) 要旨(600 字以内), (3) キーワード(5 語以内), (4) 序文, (5) 材料と方法, (6) 結果, (7) 考察, (8) 謝辞(必要に応じ), (9) 引用文献, (10) 利益相反の明記<sup>注)</sup>, (11) 図の説明, (12) 英文要旨と英文キーワード [(2), (3)に対応するもの], (13) 図・表
- 2) 短報：A4 版用紙 5 枚(英文の場合は A4 版用紙 10 枚)までとし、図・表は合計 2 つまでとする。
  - (1) 表紙, (2) 要旨(300 字以内), (3) キーワード(5 語以内), (4) 序文, 材料と方法, 結果, 考察を区別しない, (5) 謝辞, (6) 引用文献(10 編まで), (7) 利益相反の明記<sup>注)</sup>, (8) 図の説明, (9) 英文要旨と英文キーワード [(2), (3)に対応するもの], (10) 図・表(合計 2 枚まで)
- 3) 報告：下記の項目で作成すること。論文の長さおよび図・表の枚数制限なし。
  - (1) 表紙, (2) 要旨(600 字以内), (3) キーワード(5 語以内), (4) 序文, (5) 材料と方法, (6) 結果, (7) 考察, (8) 謝辞(必要に応じ), (9) 引用文献, (10) 利益相反の明記<sup>注)</sup>, (11) 図の説明, (12) 英文要旨と英文

キーワード [(2), (3)に対応するもの], (13) 図・表

4) 症例報告：下記の項目で作成すること。論文の長さおよび図・表の枚数制限なし。

- (1) 表紙, (2) 要旨(300 字以内), (3) キーワード(5 語以内), (4) 序文, (5) 症例, (6) 考察, (7) 謝辞(必要に応じ), (8) 引用文献, (9) 利益相反の明記<sup>注)</sup>, (10) 図の説明, (11) 英文要旨と英文キーワード [(2), (3)に対応するもの], (12) 図・表

5) 総説・特集・解説：形式は特に規定しない。簡潔・明瞭に記述する。

注) 利益相反に関する記載例

本研究は〇〇の資金提供を受けた。

〇〇の検討にあたっては、〇〇から測定装置の提供を受けた。

## 11. 論文データ作成に関する詳細規定

1) e-mail に添付するデータは Microsoft Word, Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint 等、編集可能な形式とする。図・写真は JPEG, あるいは GIF ファイルでも受け付ける。PDF は不可。

2) ソフトウェアのバージョン

Microsoft Word, Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint の保存形式は 97-2003 互換形式(拡張子【.doc】,【.xls】,【.ppt】)とすること。

(バージョン 2007 で通常の保存を行なうと拡張子【.docx】,【.xlsx】,【.pptx】のファイルとして保存されてしまうため、保存時のウィンドウで「ファイルの種類」から拡張子【.doc】,【.xls】,【.ppt】を選択すること。バージョン 2007 を使用して 97-2003 形式で保存する方法については、Microsoft のホームページまたは各ソフトのマニュアルに記載されている。)

3) 用紙設定

原稿サイズは A4 版で統一し、用紙の上下左右に 2 cm 以上の十分な余白を取ること。

本文は 1 段組とし、MS 明朝体 12 ポイント、40 字×30 行(1,200 字)の書式設定とする。JIS コード体系以外の外字を使用しないこと。

4) ファイル名

ファイル名は、拡張子を除き、日本語で 12 文字以内(英語、数字は半角で入力し、0.5 文字と数える)とする。必ず拡張子(.doc, .ppt, .xls)を付けること。

例：筆頭著者氏名を〇〇〇〇で表す場合、〇〇〇〇論文.doc, 〇〇〇〇図.ppt, 〇〇〇〇表.xls

5) 本文データ内容

- (1) 表紙, 要旨, キーワード, 本文, 引用文献, 英文要旨と英文キーワード, 図表の説明文を

Microsoft Word の 1 ファイルに収めること。

(2) 表紙を 1 ページとしたページ番号を記入すること。

(3) 表紙の内容は、下記とすること。

(A)表題(論文の主題を適確に表すもの)、(B)著者名、(C)所属、(D)連絡先〔郵便番号、住所(施設の場合は所属機関、所属科名などを明記のこと)、(E)電話番号、(F)FAX 番号、(G)e-mail address(電子メールアドレス)] [(A)~(C)は和英併記のこと]。

(4) 行番号は第 1 ページからの通し番号で表示すること。行番号の表示方法については、Microsoft のホームページまたはソフトのマニュアルに記載されている。

#### 6) 図表のデータ内容

(1) 図および写真の画像サイズは横 10 cm を基準とし、プリントアウトして明瞭に識別できる解像度とすること。不正確、不鮮明な図は、著者に差し戻し、再提出を求める。

(2) 一点毎に改ページし、当該ページ内に図 1、表 1 と必ず番号を記すこと。

(3) 邦文の説明文を 5) で規定した本文中に記載し、挿入場所を本文に明示すること。

(4) 図、表、写真は、カラー掲載の必要がある場合以外は白黒(グレースケール)のデータとすること。特に図は、白黒印刷で判別できるように注意して作成する。

(5) カラーで掲載する場合の諸費用は著者負担とする。カラー掲載料金は学会誌巻末の料金表に記載する。

#### 7) ファイル容量

本文、図、表のデータの合計を 12 メガバイト(MB)以下に納めること。

ファイル容量の大きい写真や図は、サイズおよび解像度を調整して制限内に収まるようにすること。

1 ページに収まらない巨大な表を作成しないこと。

## 12. 記号、略語と数字

ローマ数字、ギリシャ文字、アクセント付き文字は全角の特種文字を使用せず、アルファベットの組み合わせで代用する(例: III→III, ö→oe)。○囲み数字(例: ①)は使用しないこと。

略語を使用する場合、最初はフルネームと( )内に略語を示してから使用すること。

数字はアラビア数字を用い、数量の記号は cm, mm, μm, nm, L, dL, mL, kg, g, mg, μg, ng, pg, °C, %, hr, min, sec などを用いる。符号の後に点を付けない。

## 13. 引用文献

本文中の引用した箇所の右肩に片カッコ付で番号を付して引用順に末尾に一括し、次の形式によって記載する。雑誌名の略記は「医学中央雑誌」および Index Medicus に従う。引用文献の記述形式は生物医学雑誌に関する統一規定“Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals(いわゆる‘Vancouver’ style)”の最新版に準ずる。すなわち著者が 6 名以下の場合全員記載し、7 名以上の場合には初めの 6 名を載せ、以下“その他”とする。著者のイニシャルの後にピリオドは不要。

※Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals(URM)の最新版については原文の <http://www.icmje.org/> 参照のこと。URM の邦訳版がいくつか邦文の医学雑誌やネット上で公開されているので自己責任で参照のこと。

### 【例】

- 「生物医学雑誌への統一投稿規定」: 医学のあゆみ 201(10): 790-798/(11): 862-867, 2002
- <http://www.tokyo-med.ac.jp/imcc/UR/ur1.html>
- <http://www.ishiyaku.co.jp/magazines/urm.pdf>
- <http://www.toukokuitei.net/URM0410.pdf>

### 例

1. 清水正樹, 奥住捷子, 米山彰子, 山田恵子, 国定孝夫, 折笠義則, 他. *In vitro* における *Burkholderia cepacia* の消毒薬感受性. 環境感染誌 2000; 15(3): 240-46.
2. 木村三生夫. 感染症サーベイランス 1989. 前川喜平, 今村栄一編, 小児科の進歩 10, 診断と治療社, 東京, 1990. p. 254-62.
3. Tsuji A, Kobayashi I, Oguri T, Inoue M, Yabuuchi E, Goto S, et al. An epidemiological study of the susceptibility and frequency of multi-drug-resistant strains of *Pseudomonas aeruginosa* isolated at medical institutes nationwide in Japan. *J Infect Chemother* 2005; 11: 64-70.
4. Dimmock NJ: Neutralization by immunoglobulin M. In: Dimmock NJ, ed. *Neutralization of animal viruses*. Springer-Verlag, Berlin, 1993. p. 34-6.

## 14. 謝 辞

本文中で謝辞を述べる際には、関係者同志が事前に確認し合い了解を得ることを前提とし、編集委員会はこれに関する責務を負わないものとする。また、他学会での発表は記載しない。

## 15. 校 正

著者校正は誤字の訂正程度を 1 回とする。

#### 16. 掲載料

原著形式の投稿論文では、3頁を超える分(3頁まで無料)については著者の実費負担とする。但し、臨床治験等に関する投稿論文は全頁有料とする。また別途に定める特別掲載料を支払うことにより至急掲載を希望することができる。特別掲載を希望する場合は、表紙の下部に「特別掲載希望」と朱書きする。特別掲載の可否は編集委員会にて決定する。

特別掲載料の場合は全ページ有料とする。

#### 17. 別刷

別刷は原則的に30部まで無料とする。超過分については50部を単位とし、著者は別途に定める別刷料金表に準じた費用を実費負担する。所要部数は著者校正時に明記し、別刷送付先と請求先を記載すること。

#### 18. 投稿規定の掲載

最新版の投稿規定ならびに投稿に必要な書類一式は、日本環境感染学会ホームページ(<http://www.kankyokansen.org>)より随時ダウンロード可能である。